



(2021. 4. 19)発行

初めての『まなびば』

園長 外館 昭良



入園式から、まる2週間が経ちました。もも組の小さなお友だちは、環境の変化に慣れていなかったもので、泣いてしまう様子が多く見られましたが、今では自分の好きな遊びを見つけて遊べるようになってきました。また、ばなな組やりんご組のお兄さんお姉さんは、すっかり先生たちにも慣れ、毎日元気いっぱい過ごしています。天気の良い日には散歩に出かけのびのびと楽しそうに遊んでいますよ。(^^)

さて、そんな中、主幹のひとみ先生の指導の下、4月12日に、初めて『まなびば』を行いました。『まなびば』を楽しみにしていたお友だちもいて「きょう、べんきょうするんだ〜！」と嬉しそうに報告するお友だちもいましたよ(^^)

この日は、文字つなぎの迷路など全部で6ページの課題に取り組みました。お話を聞く時は、先生の方を向いてお話を聞くことを約束したり、迷いながらも自分で考えて迷路をクリアする様子や、終わったページにご褒美シールを嬉しそうに貼る姿が見られました。今後、経験を重ねて自分で問題を読み解いて、答えを出していけるようになると良いですね。



最後に「り」がつくもの？



絵本の読み聞かせ

心身ともに著しく成長発達するこの幼児期だからこそ、子ども達にしてあげたい事の一つが『絵本の読み聞かせ』ですね。ご家庭で読み聞かせをする時には、きっとお子様との距離が近くなっていると思います。膝の上に乗せる、あるいは添い寝をしながら絵本を見るということもあると思います。そうすることでスキンシップがとれ、子ども達にとって安心感や幸福感を得ることができると思います。

また、お父さんやお母さんと色々な絵本を通じてコミュニケーションをとる事で様々な感情を疑似体験し、情緒を豊かにすることもできます。

絵本はテレビとは違い、絵と言葉だけなので、頭の中で次の展開に思いを巡らしながら観ることで、想像力が養われます。

絵本に出てくる言葉や、お父さんやお母さんとコミュニケーションをとりながら絵本を見ることで、言葉のボキャブラリーを増やすこともできます。また、絵本独特の言葉やリズムに触れることで、言葉の面白さや言葉のリズムを感じることができます。

僕の子どももそうでしたが、何度も同じ本を読まされたことがありました。それでも良いと思います。次にこんな絵や言葉が出てくる事を覚えていて、それを見通して楽しみにしているのです。

また、小さな子どもは、すぐにページをめくってしまいますが、ページをめくる事自体を楽しんだり、次の絵を早く見たかったり知りたかったりしているのです。そのような時はめくるのが楽しい絵本を用意するのも良いですね。

このように絵本には、様々な楽しみ方があり、肉声で伝わってくる物語を全身で感じることで、心を豊かにする力があると思います。ぜひ、一日の生活の中のひとコマに、『絵本の読み聞かせ』を入れてみてください。



<メール配信システム『シルフ』について、お知らせとお願い>

今年度より、緊急時の連絡を速やかに行うためや育成会からの連絡などを含め、メール配信システム『シルフ』を活用していきます。まだ、ご登録をされていない方が居ましたら、手続きをされますようお願い致します。

なお、4月26日(月)午前10時頃に、シルフの試験配信を行います。メールがきちんと届いているかをご確認ください。万が一、メールが届いていない場合は園にお知らせください。

よろしくお願い致します。

